



植草たけし

発行 植草たけし政務活動事務所 〒260-0031 千葉市中央区新千葉 3-6-11 TEL. 043-238-1830 FAX. 043-238-1831

千葉市議会 平成28年第三回定例会

自由民主党千葉市議会議員団

植草 毅 一般質問

時間が経つのは早いもので、2期目の当選から1年半が経ちました。おかげ様をもちまして、昨年は新庁舎整備特別委員会委員長、今年度は教育未来委員長という立場を頂き、2期目となりました。今、充実した日々を過ごさせていただいております。これからも、皆様方の負託に答えるべく「住んでよかった、これからも住み続けたい」と思える千葉市」を目指し、邁進してまいりますので、ご支援ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

高原千葉村について

Q 高原千葉村開設までの経緯について

A 昭和46年頃から施設建設の検討を始め、新潟県の妙高高原などとともに現地調査を実施したうえで、交通の便・自然環境・地元の協力体制などから、当時の新治村を千葉市の方針に最もふさわしい土地として選定しました。その後、48年1月に全体的な構想をまとめ、それから約半年間の間に地元との調整・用地取得・開発のための手続き・パンガロー整備を行い、7月に林間キャンプ場をオープンしたとされています。

Q 平成27年第三回定例会以降の状況について

A 平成27年10月にみなかみ町から無償譲渡に係る条件として、運営を継続するにあたり、施設改修費を千葉市が負担すること、また宿泊料金を増額改定することなどの要望がありました。これらの要望について妥当性などを検討した結果中学校自然教室などで優先的に施設を使用できることは千葉市にとって公益性があるものの、施設を無償譲渡したうえに施設改修費を負担することはその公益を越える負担となり、適当ではないとの結論にいたしました。そこで、本年8月にみなかみ町に対し、要望に応えることは困難であることを回

答し、今後は自然教室での利用を前提とせず、民間のノウハウによって土地を有効利用する方法、あるいはみなかみ町の事業用地として活用していただくことについて検討したい旨を申し入れたところであり、千葉市とみなかみ町の双方で検討している状況です。

たけしの意見 開設している間は学校利用を継続するようお願いいたします。

Q 開設の際には議会が関与しているとのことでしたが、譲渡する際には議会に何度が説明という形でお話がありました。このような大事な事なのに議会での審議はまだしていません。譲渡するということに関し、議会の関与は必要ないのでしょうか

A 今後の高原千葉村のあり方について、民間など他の方法による活用も含め、みなかみ町と譲渡に関する協議を続けている状況であり、今後議会のご意見等も伺いながら、最も適切な活用方法を選択し、必要な議案を提案したいと考えております。

たけしの意見 議会での審議が必要です。まずは、譲渡について審議しなければならぬと考えます。



高原千葉村（千葉市HPより抜粋）



Q 今後はどのように進めていくのでしょうか

A 今後とも千葉市とみなかみ町にとって有益であり、かつ、40年以上にわたり運営を続けてきた施設を廃止することによる地元への影響を最小限に抑えることができる活用方法について、十分に協議・検討を重ねるとともに、市民の皆様や議員の方々に対する適切な情報の提供に努めてまいります。

Q みなかみ町との協議・検討の間は運営を継続するのでしょうか

A 協議・検討を続けている間は、運営を継続していきたいと考えておりますが、公の施設としての必要性が希薄となつていくこと、建物や設備の老朽化、毎年の運営経費などを考慮しますと出来るだけ早く廃止したいと考えております。

たけしの意見 建物や設備の老朽化、毎年の運営費はわからなくもないですが、公の施設としての必要性が希薄になってきているとは思いません。今でも千葉市内の中学2年生が使用しています。ぜひ運営を継続するよう強く要望します。

避難所運営について

Q 千葉市のホームページには避難所の収容人数が出ていますが、どう考えても立っているだけでやっとならないかと思われる人数です。何を根拠に避難所の収容人数は算出しているのでしょうか

A 原則として、各施設の体育館や災害時に使用可能な教室等の面積から、通路引いたものを有効面積として、その中で一人2平方メートルを使用することとして、収容人数を算出しております。発災後しばらくして、被害や避難の状況等が判明したのちには、なるべく一人当たりのスペースを増やしていけるように努めてまいります。

Q 東日本大震災の際、公共機関が止まってしまい駅周辺の避難所に帰宅困難者が多く誘導されてきました。今後も地域住民が開設使用する避難所に、帰宅困難者も収容するのでしょうか

A 帰宅困難者は、駅周辺等の限られた場所に大量に発生し、比較的短期間の滞在場所が必要となりますが、地域の避難者は家屋の倒壊等により、長期間の避難が必要となるのが想定され

るため、それぞれの避難施設は分けることが必要であると考えております。そのため、帰宅困難者を収容する施設として、避難所以外の公共施設や民間施設の10か所を帰宅困難者一時滞在施設に指定しているところであります。

Q 帰宅困難者一時滞在施設の絶対数が少ないと思いますが、今後増やす予定はありますか

A 民間施設を中心に、一時滞在施設の確保を図っていきたくと考えており、現在も複数の施設と指定に向けた協議を進めているところであります。

たけしの意見 主要駅・乗降客の多い駅付近により多くの施設の同意を得るよう進めていただき、また近隣企業の社屋が安全である場合には会社内にとどまるよう指導していただきたい。



Q 避難所運営委員会の委員が交代した時、それまでの成果の積み上げはどうなるのでしょうか

A 新旧の委員合同で会議を開催し、それまでの成果など引き継いでいただくこととしているほか、新任の委員を対象に避難所開設・運営に係る基礎的な研修会を開催するなど、委員の交代で活動が停滞しないよう支援しているところであります。

たけしの意見 稲毛区ではボックスを使い役員の誰が避難所に来ても初動体制がとれる画期的なシステムがあり、稲毛区の各避難所において導入されつつあるそうです。ぜひそのシステムについて研修会を開催していただき実際に行ってみて初動体制の確立と混乱がな

いような体制を作れるようお願いいたします。

Q 公民館に指定管理者制度が導入された場合、これまでと同様な対応ができるのでしょうか

A 指定管理者と千葉市で締結する基本協定で、指定管理者は管理施設が避難所に指定されることを十分に認識し、平時は避難所運営委員会の会議や訓練等に参加するとともに、災害が発生した場合は避難所の運営

に協力をする義務を負うこととなっており、これまでと同様の対応が可能と考えております。

Q 避難所に備蓄品はどのくらいあるのですか。また、東日本大震災当時と比べ増えているのでしょうか

A 東日本大震災以前は、中学校区に1校の小学校に分散備蓄として備蓄品を配備していたほか、各避難所へは備蓄品の配備はありませんでした。東日本大震災の教訓を踏まえ平成24年度には初動対応用の食料及び飲料水を、平成25年度には発電機や間仕切りなどの資機材を全ての避難所に配備いたしました。また、避難所の備蓄量は収容可能人数によって異なりますが、多い避難所では、現在食料970食。ペットボトルの飲料水760本などを備蓄しており、今後も平成30年度までに段階的に食料や飲料水、生活物資の備蓄の増強を図ってまいります。

Q 応援物資をどこに集積し、誰がどのように避難所へ配布するのでしょうか

A 平成28年3月に策定した災害時受援計画では、応援物資等を優先的に集積する場所を蘇我スポーツ公園に定めており、また、迅速に物資を避難者に供給するために可能な限り集積場所から避難所へ直接輸送することとしています。



Q 市民への防災意識の啓発はどのように行っているのでしょうか

防災に関する情報を市政だよりやホームページに掲載するとともに、避難所の位置や日常の備えなどを掲載した防災マップ配布しているほか、市政出前講座を実施するなど防災意識の啓発に努めてまいります。

たけしの意見 東日本大震災当時は、小学校の避難所には備蓄品はなく、市役所、消防本部へ取りに行かなければなりません。現在は多くの資機材・食料・水が確保されているとのことなので、継続して備蓄品等の増強をお願いします。

たけしの意見 これから30年間に85%の確率で震度6弱の地震が起こるといわれているので、小学校の授業の中で行うのが良いのではと考えます。学校で子どもが教わり、子どもが親に伝える事によって、親

も認識する機会が出来ると思います。避難所につきましては、多くの場所が学校・公民館の教育施設です。平成29年度より千葉市立小中特別支援学校の教職員の給与を千葉市が支給することになりますし、教員数は質の確保と適正配置のために千葉市が直接文部科学省に要求することになります。それに伴い今後は教育委員会が率先して防災に取り組みなければなりません。一層の協力体制の強化をお願いします。

千葉市議会・所属委員会

教育未来委員会委員長
大都市制度・地方創生調査特別委員会
議会改革協議会
社会福祉審議会



facebook.com/uekusa.takeshi

活動ネットワーク

千葉市青少年相談員連絡協議会顧問
千葉県立幕張総合高等学校同窓会副会長
千葉市社会福祉協議会西千葉地区部会監事
西千葉地区コミュニティーづくり懇談会幹事
法政大学経済学部同窓会常任幹事
緑町中学区青少年相談員連絡会会長
社会福祉法人希桜会評議員
保護司
登渡神社登渡会副会長
千葉市消防団1分団3部部長
薬物乱用防止教育講師
千葉ネオライオンズクラブ幹事